首都圏大曲会会報　第22号

# ふるさと大曲

題字　澁谷一男

平成28年12月発行　発行所：〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6 教育情報プロジェクト気付 首都圏大曲会事務局
電話 03(3341)6339　FAX 03(6273)0081　e-メール：info@e-prosjp.com　http://www.supportlife.info

㊤上高地から乗鞍高原へ向かう途中の澄んだ空と紅葉。㊦点灯された四ツ屋まつり七基の灯籠

㊤首都圏大曲会総会から、㊦ふるさとフェアの「大曲納豆汁コーナー」

## ほんわかと冬も楽しい大曲

首都圏大曲会会報　第22号

発行　首都圏大曲会

"大曲の花火"夜花火火の部　開始を告げる500㍍のナイアガラ瀑布

## 秋田県特別栽培農産物認証

# 内城菌（うちしろきん）パワーで こだわりの有機米 『アキタコマチ』 安全・安心 抜群に美味しい食感。

アキタコマチは今年も
肥沃な仙北平野で
黄金色に輝き
豊作に恵まれました。

＊内城菌農法

画期的なパワーを発揮する内城菌は、従来厄介者として処理されてきた食物、魚肉、野菜等から出る生ゴミを、有機肥料としてリサイクルします。これで土壌は生まれ変わり、植物は栄養分を吸収し易くなり、ここに有機肥料による「内城菌農法」が可能となります。

生産者佐藤久男氏のこだわりは、この肥料を使って生産する安全・安心の有機米『アキタコマチ』です。

## 有機米『こだわり米のアキタコマチ』Fax注文票

**ご注文Fax番号⇒　0187－62－5614**

| 特別栽培こだわり米 | 5 kg袋 | 10 kg袋 | 25 kg袋 |
|---|---|---|---|
| **①減農薬　化学肥料不使用**<br>（内城菌有機肥料のみ散布土壌） | 3,000 円<br>（　　個） | 5,000 円<br>（　　個） | 11,500 円<br>（　　個） |
| 送料ご負担分 | 1 袋 200 円 | 1 袋 200 円 | 1 袋 400 円 |
| **②減農薬　化学肥料40%使用**<br>（内城菌有機肥料＋化学肥料散布土壌） | 2,300 円<br>（　　個） | 3,800 円<br>（　　個） | 9,000 円<br>（　　個） |
| 送料ご負担分 | 1 袋 200 円 | 1 袋 200 円 | 1 袋 400 円 |
| **ご注文合計数** | （　　個） | （　　個） | （　　個） |
| 品物＋送料合計 | 円 | 円 | 円 |

| | |
|---|---|
| 〒<br>お米送付先（住所）⇒ | |
| お名前⇒ | お電話⇒ |
| 代金請求者御氏名⇒ | お電話⇒ |
| ご住所⇒〒 | |

■ 販売量に限りがございます。売切れの節はご容赦願います。

〒014-0103 秋田県大仙市高関上郷字高屋敷42　生産・販売者 佐藤　久男　電話0187(66)1702

## 秋の稔りフェア開催

### 大曲ヒカリオなど会場に

稔りの秋。大仙市では10月22日・23日の両日、新装なった大曲ヒカリオや花火通り商店街などを会場に、秋の稔りフェアが開催されました。

大仙市の産業振興などを目的に、市全体の収穫を祝うイベントとして、平成17年から開催されて来た秋の稔りフェア。これまでは大曲市市庁舎周辺を会場として開催されていたものですが、今年からは「市中心地の賑わいづくりを」という目的のもとに、中心となる会場を、大曲ヒカリオや駅前周辺に変更して行いました。

大曲ヒカリオイベント広場には、特設ステージが設置され、郷土芸能や、よさこいなどの発表が行われました。また花火通り商店街では、40台にも及ぶ軽トラックが並び、収穫された農産物や果物、その他いろいろな加工品などを荷台に並べて販売する「だいせん軽トラ市」が開催され、買い物客で大いに賑わいました。

またこれまでの被災地支援への感謝を込めて、岩手県宮古市より秋刀魚炭火焼、宮城県気仙沼市職員有志からはホタテの炭火焼が振舞われました。訪れた人は旬の味と秋の稔りを感じながら、多彩な内容の催しを満喫しました。

## 首都圏大曲会会報『ふるさと大曲』第22号 目次


◇平成28年度
首都圏大曲会総会賑やかに開催 今年も元気に再開を喜ぶ……4

第90回〝大曲の花火〟
壮麗に華やかに、大曲の空を彩る……8

◇第8回 東京で〝大曲の花火〟を観る会（予告）
&みんなでカラオケを楽しむ会……11

□第7回四ツ屋まつり 華麗に逞しく成長して開催……12

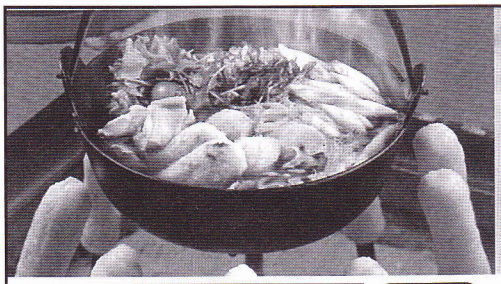
◆エッセー わが人生の大曲 小松美智子 ふるさとへの思い 結香……16

□大仙市で活躍する企業訪問シリーズ ⑫
鋼材加工販売のパイオニア 協伸精鋼株式会社……18

◆カメラ紀行（上高地から白骨温泉、乗鞍高原へ） 斉藤 貞助……24

大仙市ふるさと物産フェア2016in有楽町 15
活躍する大曲出身エンターテナーたち 22
大曲の話題 23
ふるさと納税 26
思い出の中の景色 27
編集後記 27（写真協力 大仙市）





秋田の味をお届けします
秋田ふるさと直行便
タカヤナギオンラインショップ

タカヤナギオンラインショップ | 検索
http://www.e-takayanagi.jp

GRAN MART
Takayanagi Quality Life Partner

株式会社タカヤナギ
秋田県大仙市川目字町東33
TEL0187-62-1234(代)

# 首都圏大曲会総会賑やかに！

広い帝国ホテル「光の間」は首都圏大曲会の仲間でいっぱいになった

## 大曲が故郷の仲間たち

### 今年も元気で再会喜ぶ

**大仙市のふるさと会首都圏大曲会は8月6日の土曜日、恒例の帝国ホテル東京「光の間」で平成28年度の総会兼懇親会を開催しました。真夏の総会でもこの日は比較的に涼しく、大曲を故郷とする人々や大曲に縁を持つ人々が大挙参加して、今年度の活動としての幹事会案を承認し、一年振りの親睦会を楽しみました。**

「来年は国際会議の“花火サミット”が開催される……」と大仙市の近況を報告する栗林次美市長

首都圏大曲会の総会は、日本を代表するホテルである帝国ホテル東京で開催していることは多くの人々に知られています。ふるさとの大曲から首都圏に出て来て、学びまた働く人々にとって、年に一度の総会は印象に残る会場を選び、印象に残る総会内容にして会員の結束を図ろうとする価値観が、この会の伝統となって今に続いているものです。

平常は7月の、東京のお盆が明ける頃が、参加する会員には都合が良いだろうということから、毎年、7月20日前後の土曜日の開催が恒例でした。ところが、今年はホテルも混み合っていて、ホテル側との日程交渉が折り合わず8月に入った真夏の開催となりました。

毎年総会開始前に、前年夏の「大曲の花火」の映像を流してふるさとを偲びますが、今年は花火の映像とともに、首都圏大曲会会員高階光義さん（昭和14年生まれの中良野会・なからのかい　のメンバー）が制作した「なつかしの大曲　今・昔」を上映し、往時の大曲と現在を比較して振返りました。（6頁掲載）

総会は予定通りの11時30分、大友副会長の司会で開始しました。この日、首都圏大曲会会員を初め大仙市栗林市長や関係職員、市会議員や大曲商工会議所、秋田県東京事務所や秋田魁新報、『ふるさと大曲』に広告で協力してくれる企業や商店などとともに、大仙市の首都圏各ふるさと会の代表など約百五十名の参加がありました。

### 幹事会提案事項は満場一致で承認される

初めに大釜茂璋会長による歓迎の挨拶につづき、会長より平成27年度の事業報告、会計報告がなされ、佐藤監事から監査報告が行われました。直ちに評決がなされ満場一致で承認されました。引続き平

# 平成28年度

## 年に一度の真夏に集う

## 毎年人気の福引き大会

### 景品は地元商店や企業のご厚意

### 今年も熱気呼ぶ盛上り

開会の挨拶をする
首都圏大曲会大釜会長

写真上は、栗林市長を囲んで大仙市の近況話しに聞き入り、花が咲く。
傍で歌う富士琴美さんの歌が拍車をかけて、一段と陽気に盛り上がる。
ふるさと会の仲間が集まって交歓し合う、もっとも楽しいところだ

総会で祝辞を述べる
大仙市議会石塚議長代理

首都圏大曲会の総会で毎年人気を呼ぶイベントがお楽しみ「福引き大会」です。これには地元大曲地区の各商店を始め、黒湯温泉、妙乃湯、都わすれの宿泊券、会場の帝国ホテルの食事券などが提供されて、参加する人は期待に胸を膨らませます。

進行は築地副会長。かつて大曲駅前で一世を風靡した月岡劇場出身とあって、マイクの調子は玄人はだし。誰もが浮き浮きした気分で、おさな馴染みとのお喋りに夢中になりながら、司会の名調子に耳を傾け、一喜一憂に徹します。

これは会場横に店を広げる「大仙市特産品」の即売ブースとともに、参加者には無くてはならない、絶対の人気です。

お土産は大仙市高関佐藤久男さん提供アキタコマチ。ずしりと重い大曲産です。

成28年度事業計画、予算案の説明があり、これも異議なく提案通り通過しました。

平成28年度は、夏の総会、2月の「東京で〝大曲の花火〟を観る会&カラオケを楽しむ会」の開催、年2回会報『ふるさと大曲』の発行、「ふるさと物産フェア」への協力、会員増強などが主たる活動です。

用意された一連の審議事項が終わり、引き続き栗林大仙市長より祝辞を頂きました。

### 来年4月、大仙市で国際花火サミット開催

大仙市大曲地区の近況の報告では、昨年完成した大曲ヒカリオを中心に駅前が活気づいて来たこと、第16回国際花火サミットが来年4月大仙市での開催が決定、花火産業構想の弾みになること。全県500歳野球大会が、来年から野球に燃える親父たちの甲子園として全国大会になることなど、元気の出る話題が報告されました。続いて大仙市議会議長代理として石塚柏議員の祝辞がありました。まちづくり課職員が「ふるさと納税」の説明とともに協力を訴え、大曲商工会議所賢木新悦副会頭の発声で、高らかに乾杯が行われ、総会は終了しました。乾杯の酒は、鈴木酒造店提供、特製の「大曲」です。

# 少年の頃の　大曲の街並みを

## 高階光義さん映像で偲ぶ

### 総会開会前に特別にDVDで

昭和14年生まれの同級生で構成する中良野会メンバーの高階光義さんは、同時に首都圏大曲会の会員。映像や音響機器に興味を持つ高階さんは、DVD制作にも強い関心を見せています。

首都圏大曲会が毎年二月に開催する「東京で『大曲の花火』を観る会」でも、少年の頃を偲ぶ大曲の映像を編集して、集まった会員に披露して好評を呼んでいます。

今年第28回を迎えた首都圏大曲会の総会に先立ち、「なつかしの大曲　今・昔」を映像化して、往時を知る会員たちを楽しませてくださいました。どんどん変革していく大曲の街並ですが、高階さんは制作の趣旨をご自身の少年時代の思い出とともに、次のように説明してくださいました。

お馴染みの福引き大会。お喋りに夢中になれば抽選会の始まりも耳に入らないことも。その都度司会の築地副会長はユーモラスに誘導する。

### 「なつかしの大曲　今・昔」編集制作に当って

私の実家は平成11年まで大曲上栄町にありました。向かいは市役所を初め、図書館、土木事務所、大曲小学校、運動場、農業高校などで、遊ぶのにはとても都合のよい所でした。家の前は通学路でもあり、小学校時代は生徒がよくわが家の藤棚を見学に来たものです。

昭和27年3月、小学校卒業記念に実家の前に植えた桜の苗は、上京後は私の思いが通るかのように、毎年、周辺の桜の開花に先駆けて綺麗な花を咲かし評判だったようです。そして平成2年「秋田民報カレンダー」5・6月は、我が家の玄関前に咲く桜の写真が採用されました。

時は過ぎ実家の移転後、平成11年12月、旧家の解体と共に桜の木も伐採されて、永年、道行く人々の目を和ませてくれた桜と、子どもの頃の実家の面影は無くなってしまったのです。上京して最早58年、故郷への想いは変わることはありませんが、年齢を考えるとこのあと何回帰郷できるでしょうか。今回ご覧頂いた映像は、一昨年の2014年9月に帰郷した折、機会あって弟の光栄が案内してくれて、旧実家周辺と思い出に残る場所をビデオに収めました。

DVDの編集にあたっては、数少ない資料の中から、往年の同じ場所とをオーバーラップさせてみました。個人的な素人撮影で、全体的視野に至っていないことをお許しください。

首都圏大曲会のみなさまには、一コマでも懐かしく観て頂ければ、制作者としてこの上ない喜びです。　高階　光義

丸子橋界隈の光景は、春夏秋冬、季節を問わず大曲のシンボルだ

心と心のふれあいのスペース

ご婚礼・ご宿泊・レストラン・各種ご宴会に！

ご利用をお待ち申し上げます。

大曲エンパイヤホテル

〒014-0015　秋田県大仙市大曲白金町８番17号
Tel 0187−63−1131　Fax 0187−63−1541
URL　http://o-empire.com/

大曲商工会議所

会頭　佐々木　繁治

〒014-0027　秋田県大仙市大曲通町1－13
TEL　0187－62－1262　FAX 0187－62－1265
E-mail：kaigisho@omagari-hanabi.com
URL：http://www.omagari-cci.com

# 東京で活躍する
# 大曲出身の芸能人たち

千葉とし子さんと藤丸東風さん

富士琴美さん

結香さん

高田洋子さん

## 首都圏大曲会懇親会で
## 最高のパフォーマンスを披露

首都圏大曲会の総会後の懇親会は、大曲出身の芸能人が最高のパフォーマンスを披露してくれます。「大曲会はいいなあ」と、他のふるさと会に言われます。

今年も千葉とし子さん夫妻（民謡）、富士琴美さん（浪曲、歌謡曲）、結香さん（ポップス）、そしてお馴染みの高田洋子さんが、お嬢さんとの共演で、元気にフラダンスを踊りました。

ふるさと大曲の雰囲気が流れる総会・懇親会会場

首都圏大曲会の総会で高田洋子さんのフラダンスは名物になっています。高田さんはもともと古くからの会員で、会の世話役も経験した大曲会大好き人間です。もともとバスケットでは日本屈指の名プレイヤーとして活躍しましたがその後フラダンサーとして今に続く踊り手です。今年はお嬢さんと一緒に二曲を披露。とても80歳を越したとは思えない元気なフラダンスに拍手喝采を浴びていました。

大曲はエンターテイナーの多い所です。「大曲はいろいろな芸能人がいていいな」と、他のふるさと会に羨ましがられることがありますが、この日も津軽三味線の畠山光洋さん、落語家二つ目の三遊亭遊里さんは、他の出番とかち合って参加できませんでした。しかしそれをカバーして、富士琴美さん、藤丸東風・千葉とし子さん夫妻、若手売出し中の結香さんの出演で、賑やかで楽しいい舞台を演出してくださいました。

もともと富士琴美さんは、浅草の木馬座を本拠とする浪曲師ですが、これまで大曲会では歌謡曲や手品、踊りなどを披露して大サービスに努めてくれています。尺八家元の藤丸東風と民謡歌手として知られる千葉とし子さんは、畠山光洋さんのご両親。息子の穴を親がカバーするとばかりに、急遽お二人での出演となりました。

結香さんは内小友出身のシンガーで、大曲高校から千葉大学へ進学・卒業した生粋の大曲人です。現在は東京を中心に活躍していますが、大仙市をはじめ秋田県内各地のイベントでも数多く出演し、人気沸騰中のエンターテイナーです。祖父に、内小友地区余目いきいき会議協議会設立に尽力された加藤加一さんを持ち、首都圏大曲会などふるさと会の活動にも深く理解を示し積極的に協力してくださっています。（関連記事16頁）

# 華やかに、大曲の夜空彩る！

## 第90回“大曲の花火”全国花火競技大会

写真提供　大仙市

創造花火の部
優勝「光の旋律」
野村花火工業（茨城県）

雄物川河畔　特設会場を埋め尽くす大観衆

## 豪雨が去った。快晴だ！

### 河畔埋める74万人の大観衆

明治43（一九一〇）年から始まった「大曲の花火」は、今年九十回という節目の年を迎えました。旧大曲町を中心とした仙北地方の花形行事として維持されてきましたが、今やわが国はもとより全世界に誇る大仙市の主要行事にまで進歩、発展しました。来年4月は大仙市で国際行事「花火サミット」が開催され、花火に対する市民の情熱はますます盛り上がります。

前日からよくぞ降ってくれた雨も、朝方からはからりとあがりました。会場の雄物川河畔に全国から集まった見物客は大会発表で74万人。大会の幕開けは「大曲の花火」特有の、500㍍に及ぶナイアガラの滝。滝の上に次から次へと打ち上げられるスターマインが、会場の大観衆を夢幻の世界へと誘います。

「大曲の花火」は、全国から選びぬかれた花火師によって競われる競技大会であることはよく知られています。それだけに毎年の出品者は技術を磨き英知を集めての真剣勝負。観客の目もますます肥えてきているだけに花火技術の向上は年を追って目覚ましい進歩を遂げています。

今年の大会テーマは「行雲流水　礎と創」。昨年のテーマを継承し、長い伝統を大切な礎として、加えて新たな歴史を創り上げていこうという大仙市民の願いが込められたものです。

夜花火の部の最優秀賞には内閣総理大臣賞が授与される

# 壮麗に

# 整然とした会場運営

## 日本一の大会　遠来の客も感動

10号玉自由玉の部　優勝
「春の訪れ」
㈱マルゴー（山梨県）

10号玉芯入割り物の部　優勝
「昇り雄花四重変化菊」
太陽堂田村煙火（長野県）

大会提供花火「歓喜」

ことあって、花火師の間では「大曲の花火」が全国最高の花火大会と位置付ける人は多いのです。それとともに毎年観客の話題になり、熱狂させ、最大の楽しみが「大会提供花火」。今年は第90回という節目の大会にちなみ、テーマは『歓喜』。ベートーヴェンの作曲した「交響曲第九番」。メーンテーマの「歓喜の歌」に合わせて、参加できた28業者の提供による選りすぐりのワイドスターマイン（花火玉）を約6分間にわたって、次々と打ち上げました。大輪の花火が間断なく、花火の上にまた花火と何層にも広がると、会場からは大きなどよめきとともに大歓声が涌き起こり、それが対面の西山に反応して返り、「大曲の花火」らしい演出となって観客の心を一層盛り立て、歓声と拍手は長々と続きました。

想像花火の部　準優勝
「輝く星へ感謝を込めて」
大曲花火化学工業㈲（大仙市）

今では珍しくなった「昼花火」を観る観客たち

### 対策会議等を編成して事故防止に万全を期す

「大曲の花火」はこれまで世間を騒がすような大事故は発生していませんが、一般に花火大会と言えば兎角の事故が起こりかねないので心配されます。

ひでよし――ひょうたん

お酒を注ぐ時に聞こえる「こぽこぽ」という音も、より一層お酒をおいしく感じさせてくれます。軽快な口当たりと爽快感をお楽しみ下さい。

未成年者の方にはお酒をお販売しません。

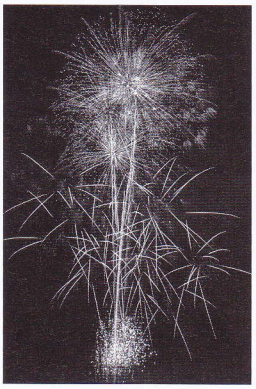
秀よし

（名）鈴木酒造店
大仙市長野字二日町9
電話0187-56-2121

そこで大仙市では、似たような規模の花火大会の状態をよく調査し、大会の事前対策として、事故防止並びに、仮に発生した場合での対策を検討して万全を期しています。

今年の大会においても、共同主催の大曲商工会議所とも連携し、市長を本部長として数回の打合せ、対策会議等を開催しています。

また会場整理や交通整理、誘導、緊急医療やテロ防止などにまで気を使いながら万全を期しました。今回遠来からのお客様が、「さすがは日本一の大会だ」と、行き届いた会場管理に感銘を受けたと感心していました。



創造花火
「玉桜～月光に揺れる華の舞い～」
㈱小松煙火工業（大仙市）

大会のフィナーレは観客と花火師たちの光りによるエールの交歓。情が通い合う「大曲の花火」ならではの特徴である

# あおのものがたり

## 大曲の花火　秋の章

## 第一幕から四幕　多彩な構成で

10月8日（土）、大仙市花火産業構想、四季の花火事業の一環として、大曲の花火　秋の章「あおのものがたり」が開催されました。断続的に降る雨に悩まされましたが、それでも大曲の花火を秋にも見ようと駆けつけた約3万人の観客が熱心に拍手をおくりました。

大会は日もとっぷり暮れた午後6時、雨の中のスタートでした。オープニングは「美しき青きドナウ」。軽快な音楽に乗って色々な明るさを持った創造花火や尺玉が雨を突き破るかのように打ち上げられました。独自性の高い、さすがは大曲の花火と思わす、観客を魅了する解説も観客には好評でした。

ハーフタイムショーは、子ども達に人気の「妖怪ウオッチ」花火。尺玉日本花火作家選抜による「伝統割物と斬新自由玉競演花火」。フィナーレは花火ミュージカル。大曲の空で約15分間の「フレンチカンカン」ショーでした。

## 台風9号　観覧席70％が水没

「大曲の花火」が開催される8月の終わり頃は、とかく大雨に見舞われることが多いと「だいせん日和」10月号では報じています。

最近では平成26年、第88回大会の直前に豪雨災害が発生し、雄物川や玉川の河川敷に設置していた臨時駐車場7カ所が浸水で閉鎖されるなど、大会運営に支障を来しています。

運営主体の実行委員会は、こうした経緯を踏まえ花火の打ち上げ場所の水はけをよくするために整備するなど、安全で円滑に大会運営が出来るよう取り組みを進めて来ました。

今年は台風9号が日本列島を横断した影響を受けて、雄物川が増水したため観覧席の70％、約10万人分が水浸しになりました。そこで早速、大曲地区消防団の自主的かつ献身的な協力のもとに、災害個所を見回るとともに補修をし、桟敷席の洗浄や消毒をするなど、観客の安全を期しての復旧作業に全力を尽くしました。

特別プログラム「メタモルフォーゼ」
イケブン（静岡県）

東京で大曲の花火を観ようと始まった首都圏大曲会主催「東京で『大曲の花火』を観る会」は、同時に行われる「カラオケを楽しむ会」とともに好評で、この冬第8回を迎えます。花火弁当や大曲の地元仕入れの秋田銘酒に加え、高階光義さん制作の映像「川を渡る梵天」も披露されます。

**日　時**　平成29年2月19日（日）
午後1時～4時30分（受付開始　12時30分）
**会　場**　アルカディア市ヶ谷（私学会館）
**会　費**　五千五百円　花火弁当、飲み物、お土産付き
**参加お申込み**　来年（平成29年1月10日より）
電話　03（3341）6339
Fax　03（6273）0081
e-メール：info@e-prosjp.com
氏名・住所・電話・参加人数を記入し、右のいずれかへ。

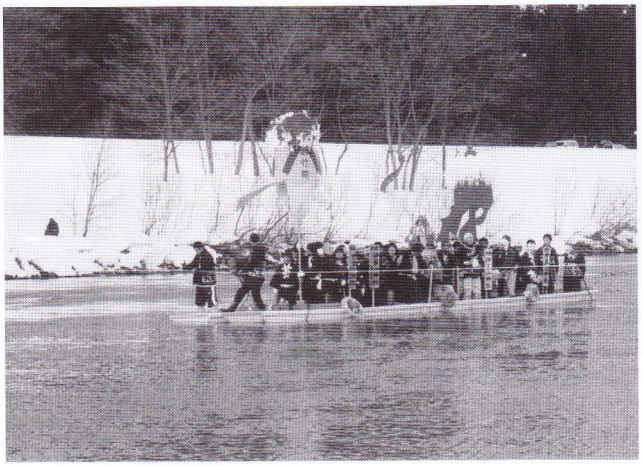
花火弁当に秋田銘酒もついて、まるで雄物川河畔で花火見物をしている感じだと、昨年この会に参加した方の正直な感想です。〝大曲の花火〟は日本一、いや世界一だと思うよと、花火の話をすると俄然郷土愛が芽生えて、花火自慢をする人の多いのは、首都圏大曲会の特徴かも知れません。

花火見物は大曲の雰囲気になる。
カラオケの歌い手さん何を思う

## 大曲 冬の風物詩「川を渡る梵天」

＜高階光義さん制作＞

**大曲の今昔を映像で綴るシリーズ**



上は、〝大曲の花火〟を冬の東京で観賞する意外性が人気を呼んでいる。右は、大仙市冬の風物詩「川を渡る梵天」

ここ数年「花火を観る会」には大仙市の各ふるさと会からも参加してくれる人が増えて来ました。大曲の花火が「大仙市の花火」として強い愛着を感じている人が多くなっていることを感じます。

花火鑑賞に合わせて、大曲の雰囲気も味わおうと、昨年のこの会で、会員の高階光義さんが、変わりゆく大曲を映像化して大変好評でした。今年は大曲の冬の風物詩「川を渡る梵天」を映像化して投影してくださることになっていて、これも楽しみです。そしてもう一つの楽しみが、カラオケコーナーです。大曲会は美声の持ち主が多く、カラオケ自慢が格別に多いのです。それに気付いた他のふるさと会からも。声良し自慢が参加して、それは楽しいのど自慢大会になるのも、このイベントの特徴とも言えます。

なお参加者にはお土産も用意されます。それは夏の総会でも支援してくださり、『ふるさと大曲』の広告でも知られる大仙市高関の佐藤久男さんからの「こだわりのアキタコマチ」です。大曲会らしいお土産だと大好評です。

# 「第7回 四ツ屋まつり」開催！

## 華やかに、逞しく成長

### 四ツ屋公民館など 積極的な支援で

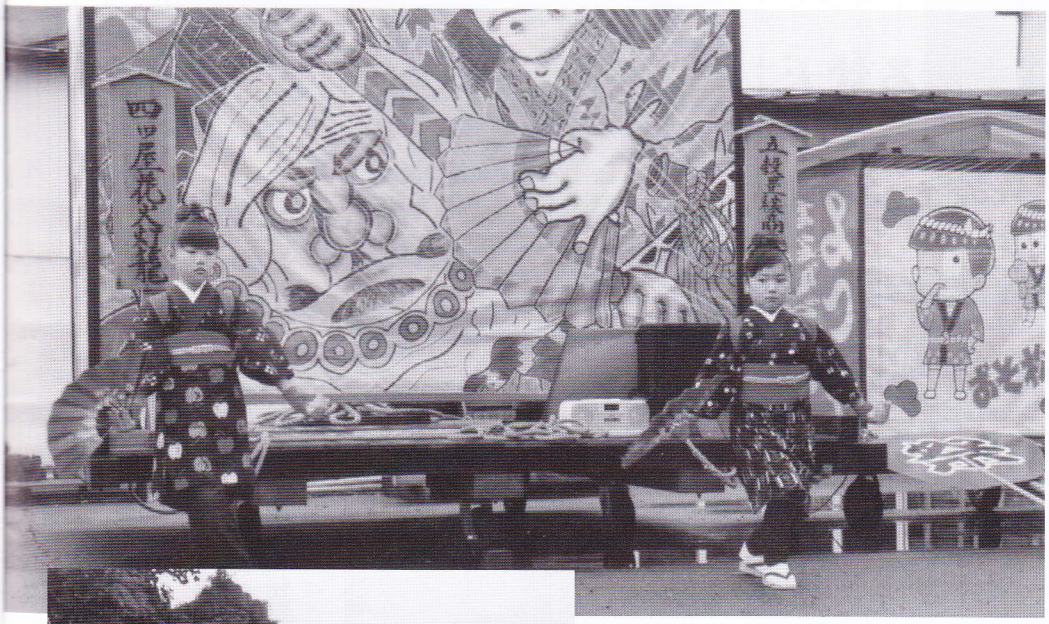
花火灯籠をバックに「第7回四ツ屋まつり」の祝辞を述べる大仙市栗林次美市長

**主催：四ツ屋地区コミュニティ会議・四ツ屋まつり実行委員会**

大仙市四ツ屋地区の活性化を目指し、地元の若者たちが中心になって立ち上げた「四ツ屋まつり」（主催四ツ屋地区コミュニティ会議　伊藤隆康会長、四ツ屋まつり実行委員会　斉藤健太郎委員長）は、今年十月九日（日）、第七回を迎えて、賑やかに開催しました。はっきりしない天気は、時折り雨に変わる生憎さでしたが、今年は四ツ屋地区はもとより地区外からの来会者も多く、この地区のお祭りとしてしっかり定着しました。

「四ツ屋まつり」は、大小七基の花火灯籠の町内練り歩き、四ツ屋公民館のステージを使った「芸能発表」、同ホールを利用してパッチワーク、押し花、書道など、生涯学習の成果を発表する「展示コーナー」。加えて商工協議会等による「出店コーナー」と、ビール等飲み物や焼きそばなどとともに、今年は金魚すくいも設置するなど、多彩な催しのおまつりになりました。

例年のように旧伊藤住宅前を出発点に「花火灯籠」大小七基は、えびす会の纏、昌月会による踊りを背に、勢いよく出発。途中、老人福祉施設「ファミリー」で、纏や踊りを披露して入所者に喜ばれました。練り歩きには栗林市長、吉川教育長も応援に立ち会ってくださいました。到着した公民館前の「お祭り広場」では、栗林市長から励ましとお祝いのご挨拶がありました。



写真上、花火灯籠は町内練り歩き前、昌月会による手踊り。
下、子ども達もすっかりお祭り気分

# 〝四ツ屋花火燈籠〟きりり

## 四ツ屋若衆　いなせな半纏姿披露

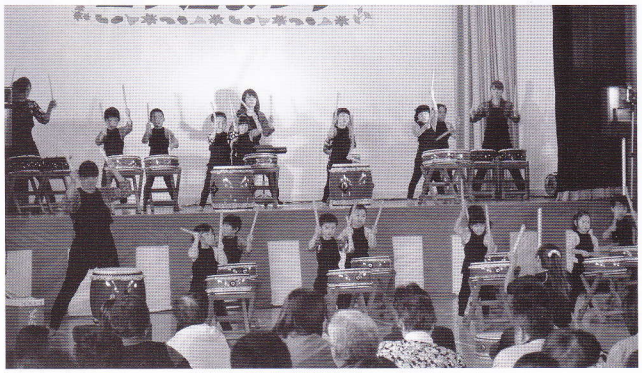
「四ツ屋若衆」と染め抜かれた半纏がお祭り気分を盛り上げる。背中に花火印が浮き出る

いっぱいのお客さまで埋まった大人気の発表会場

## ステージ発表会場は満員の大盛況

### 保育園児や小学生たちの熱演に拍手喝采！

保育園児たちが元気いっぱいにダンスを披露した



ここにも超人ネイガーが…

ＡＫＹは益々人気者だ

写真右上は、保育園児による太鼓のパフォーマンス。右下は、高いレベルの演奏をする四ツ屋小学校器楽部のみなさん。上は、東京で活躍するエンターティナー結香さん（大仙市内小友出身）

公民館前のおまつり広場には、大小7基の「花火灯籠」が並びました。ステージ発表のホールは観客で満員です。

今日の司会はＦＭはなびパーソナリティ根田朋子さん。オープニングは四ツ屋小学校器楽部のみなさん。合間には主催者を代表して伊藤コミュニティ会長、東京から参加した首都圏大曲会大釜会長の挨拶がありました。続いてどれみ保育園の園児が「ソーランＢＥＡＴ」や太鼓演奏など、四ツ屋保育園児は「あっちこっち　そっち」などお遊戯で沢山の拍手を受けていました。

日頃公民館で練習している音楽団体や、地元佐藤昌月さん率いる民謡ショーがありました。特別出演は東京で活躍する内小友出身の結香さんです。二年ぶりの出演でしたが、親しみ易い優しい声で会場内にアピールしていました。

ここでこの日開催されたスポーツ少年団大仙市長杯争奪ミニバスケット大会で、男子は優勝、女子準優勝の報告がありました。そして女子2名が入部したスポ少野球チーム

四ツ屋まつりのフィナーレは、“打ち上げ花火”で締めくくる

花火燈籠が照らすお祭り広場一杯に繰り広げられた「よさこい」

花火灯籠がライトアップされ、華やかにパフォーマンスが繰り広げられた

## 花火灯籠がライトアップされて

# お祭り広場もヒートアップ！

す。いつもながらのお父さんたちの奮闘で場内は笑いのウズ。割れんばかりの笑いと拍手の中、大成功で幕を下ろしました。

展示コーナーでは、公民館が定期的に開催する生涯学習で身に付けた成果の発表です。「パッチワーク」や「押し花」などいろいろな作品が展示されました。午後6時、「おまつり広場」に花火灯籠ライトアップ。「百蓮会」等による「よさこい」「纏」の競演。その後、大会フィナーレを飾る花火大会です。「響屋」の割物10発と、まつり提供花火五百発が、おまつり広場の夜空で威勢よく響き渡りました。

の紹介がありました。

その後はステージに「超人ネイガー」が登場し子ども達は大喜び。握手会には長い列が出来ました。フィナーレはお馴染みのＡＫＹで

生涯学習で公民館が行っているパッチワークなどの手芸作品が展示され人目を集めていた

旬の秋田が高輪に。
Dining＆Shopping
あきた美彩館
Akita Bisaikan
京急本線品川駅　JR品川駅　高輪口　徒歩3分
東京都港区高輪4丁目10-8
ウィング高輪WEST-Ⅲ 1階
TEL 03-5447-1010　http://www.akita-bisaikan.jp/

# 大仙市 ふるさと物産フェア2016 in 有楽町

小雨の中を、オープンと同時にぞくぞく購入者が入場してきた（ＪＲ有楽町駅中央口広場）

## 大仙市の特産物を東京で販売し大好評！ 11月11日（金）、12日（土）の二日間

大仙市役所観光交流課、（一社）大仙市観光物産協会主催「大仙市ふるさと物産フェア2016 in 有楽町」が、今年も11月11日、12日の二日間にわたり開催されました。大仙市で生産される米、野菜、いろいろな漬物やスウィーツ類、酒や特産の製品などとともに、観光情報や首都圏で活動するふるさと会なども紹介しました。初日の11日は、東京のこの秋にしては珍しく寒い日で、小雨混じりのお天気でしたが、このイベントを待ち兼ねていた人々にとっては雨も風も何のその、12時の会場とともにどっと懐かしいふるさとの特産品が並ぶ各ブースへ駆けつけたものです。

東京で「大仙市大曲といえば何を思う？」と友人に問いかけると、すかさず「花火とアキタコマチ！」と応えてくれました。「いやいやそんなものじゃない。酒や漬物、イブリガッコだって本場だぞ」とすかさず応じたものでした。大仙市の物産フェアは大仙市出身者だけでなく、他県出身者にも大いに魅力を感じるイベントです。

翌12日は前日とは打って変り終日が小春日和の上天気。人出も多く大いに賑わい売れ行きも絶好調。

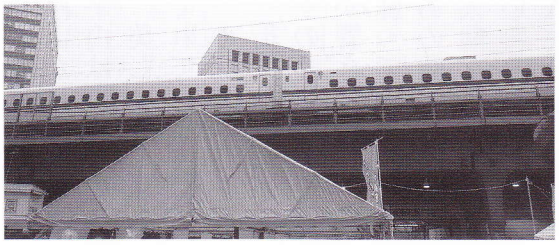
特にアキタコマチ「花火米」の新米は飛ぶように売れて、いつものように「大曲納豆汁」もお馴染みの赤い車の周りは、B級グルメでも知られる大曲名物として、大いに人気を呼んでいました。

旨めもの研究会の大曲納豆汁はいつでも混雑ぎみ。「初めてです」という人もいた

ここは有楽町から銀座への抜け道。地下鉄も通って絶好の場所である

## 首都圏各ふるさと会を紹介するガイドも配布

大仙市には首都圏大曲会のようなふるさと会が、旧市町村単位に８つあります。今回それぞれ紹介のちらしを作り、希望者に配布しました。



頭の上を、ひっきりなしに東海道新幹線が通る

大曲に生まれ。大曲で育ち、大曲で学び。大曲で働いた。あの頃

首都圏大曲会

あなたも今日から
首都圏大曲会の仲間に
なりませんか。

首都圏大曲会の紹介ちらし

■エッセー

# わが人生の大曲

礼儀・エチケットなどの研修や講演に忙しい小松美智子さん

小松美智子　KOMATSU　MICHIKO

㈱MISインターナショナル社長
大曲高校卒　JAL国際線スチュワーデスを経て現職

ときの流れはふるさとに続く遠い想いの中で、子どもの頃が優しく醸成されて懐かしく、それはやがて感謝の念となり私自身の宝となりました。

昭和一七年三月二六日が私の誕生日。早生まれということから背丈も小さく、小学校に入学した頃はからだも弱く、小学校の思い出がほとんど残っていないのが寂しく思います。それが6年生の頃からそろばん塾に通い、中学2年で目標の1級に合格すると、途端に興味を失い止めてしまいました。

中学になると、ようやく背丈も同級生と同じぐらいにまで伸び、勉強も楽しくなって、特に英語が大好きでした。

## 修学旅行で知った客室乗務員の仕事

中学2年の時、修学旅行で東京へ行き、羽田空港で客室乗務員という職業を初めて知り、私の憧れとなりました。それ以来英語の勉強に力を入れたことを憶えています。やがて高校でも英語サークルに入り、学校でも家に帰ってからも、たとえ街を歩いていても、なるべく英語に触れるように意識したものでした。

高校の卒業が近づき、銀行への就職を勧められましたが、それを断って初志を貫こうとした乙女心も懐かしい思い出です。そして、やがて憧れの客室乗務員になれたことは本当に幸せでした。

以後客室乗務員という職業を通じ、多くの経験を経て、現在の企業を興し仕事を続けています。

## 花火見物で思うふるさとへの感謝

ここ数年来、千葉県の経済会のみなさん十人ほどのグループで、毎夏の花火見物を目的に、大曲へ帰るようになりました。

それは毎回のことですが、電車から大曲駅のホームに降り立った瞬間、こころの底から何とも言えない嬉しさが込み上げ、懐かしい気持ちが胸に溢れて、やっぱりふるさとはいいなあとつくづく感じるのです。胸の奥まで大曲の空気を吸い込んでいる自分に気付くことがあります。

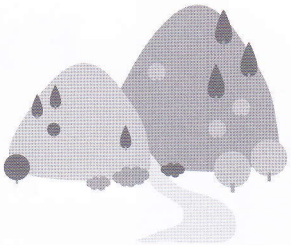
駅前に出て広い空を見上げると、大曲の街を優しく抱きかかえるかのように、西山が目に映ります。太平山は当時と変わりなく、美しい姿で私を迎えてくれています。

全国一の花火大会を前にして、街には活気が溢れ、人々の話し声、笑い合う声が響き、当時のけん騒が蘇っています。

もしあの頃、東京へ行かずに大曲を生活の場に選んでいたならば、私はどんな人生を送っていただろうか、ふと考えることがあります。しかし帰ることができる、温かいふるさとの大曲があるだけで、ただそれだけで私は幸せだと感謝の気持ちが胸に溢れるのです。

首都圏大曲会総会の懇親会の部で歌う結香さん

# ふるさとへの思い



**結　香　YUKA**

エンターティナー　歌手

大仙市内小友出身、大曲高校、千葉大学卒

私にとってふるさとは〝帰る場所〟です。

いつ帰っても温かく迎えてくれる場所・大曲。そんな大好きなまち・大曲で、先日私は「ふるさとコンサート」を開催することが出来ました。

会場は、私の小さい頃からピアノの発表会や吹奏楽コンクールのリハーサルなどで立ったことのある大曲市民会館小ホール（旧中央公民館）。

しかし現在の私にとっては、これまでには経験がないほどの、大きな会場でのワンマンコンサートでした。いつも応援し、見守ってくださるふるさとの皆さんに、今の私が出来るベストなステージをお届けすることにわくわくする反面、楽しんでもらえるかどうか、とても不安な気持ちもありました。

## 母校の4年生と歌う「僕らの時代」

やがてコンサート当日を迎えて幕が上がった瞬間、それまでの私の不安と緊張は一気に消え去りました。会場いっぱいの皆さんの笑顔と歓声、そして拍手が私を包み込んでくれたのです。

オープニングは、私の母校である内小友小学校4年生のみなさんと共に歌う「僕らの時代」。

この日のために毎朝練習を重ねてくださり、素晴らしい歌声で会場を盛り上げてくださいました。内小友小学校の先生方、そして保護者の皆さまが快くご協力くださり、今回このサプライズ企画ができました。

コンサートの終盤で、同じ秋田県出身で、東京を拠点に活動するラッパー「羅漢」さんとのコラボレーションもありました。

ふるさとを離れ、音楽活動を続ける中で、つらいこと苦しいことも沢山あります。そんな気持ちを分かち合い、そしてお互いに切磋琢磨し合える同郷の仲間がいること、そしてふるさとの皆さんの前で一緒に歌えたこと。とても嬉しい機会となりました。

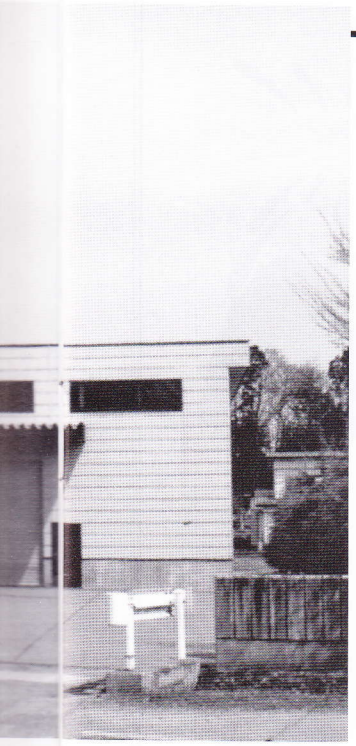
## ふるさとのために私が出来ることは

今度の「ふるさとコンサート」開催にあたり、本当に沢山の方々に応援をしていただきました。私一人では決して実現することの出来なかったコンサートです。

東京から集結してくださったバンドの皆さん、そして当日、会場に駆けつけてくださった地元の皆さん。チャリティー募金にも沢山のご協力をいただきました。

ふるさとのために私が出来ることは何だろうと日々思う中で、今回のようなコンサートを開催できたことは、私にとっては大きな出来事でした。自分自身の夢を追いかけながら、応援してくださるふるさとのみなさんに向けて歌うこと。その思いを通して元気をお届け出来るように、これからも歌い続けていきたいと思います。

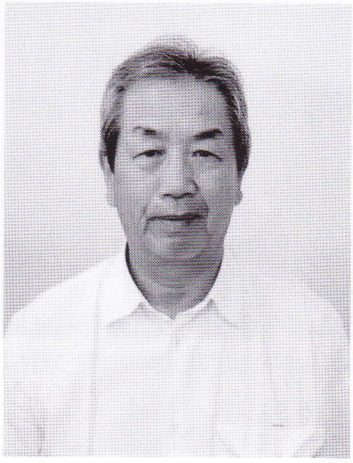
大仙市で活躍する 企業訪問 シリーズ⑫



未来にチャレンジする

# Kyoshin Seiko

創業以来、鋼材加工販売のパイオニアとして、各企業の生産性の向上、コストダウンに協力してまいりました。

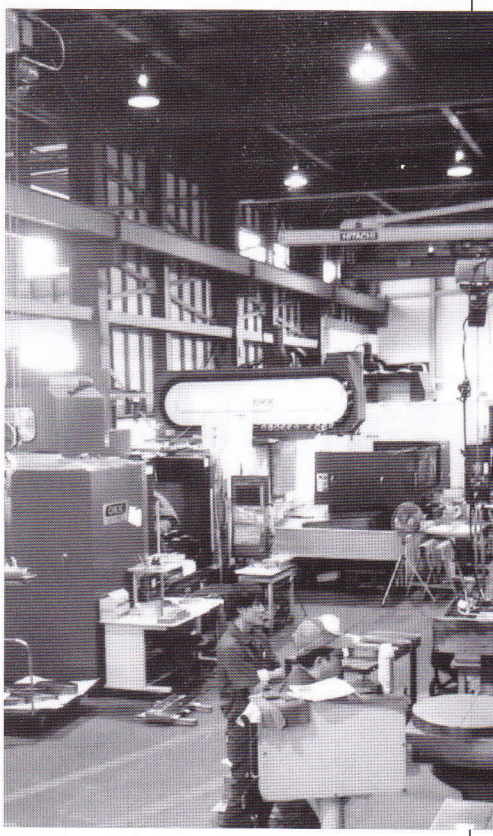


代表取締役
吉 成 信 一

# KSP 協伸精鋼株式会社

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 本社所在地 | 秋田県大仙市内小友字中沢11の4 |
| 創　　立 | 平成元年7月6日 |
| 代　　表 | 吉 成 信 一 |
| 資 本 金 | 1,000万円 |
| 社 員 数 | 21名 |
| 営業品目 | 1．鋼材（構造用鋼、特殊鋼）及び非鉄（アルミ、ステンレス等）の1次加工販売<br>2．金型、各種産業機械及び省力化機械部品の全加工販売<br>3．その他鋼に関する業務 |
| 取引銀行 | 北都銀行大曲南支店　秋田銀行大曲支店 |
| 主要仕入先、メーカー | 日立金属株式会社　大同特殊鋼株式会社<br>中部鋼鈑株式会社 |
| 商　　社 | 青山特殊鋼株式会社　佐藤商事株式会社 |



協伸精鋼株式会社上は工場内A棟、左は工場内B棟。5S活動が行われ工場内は整然と整理されている

鋼材の加工販売を始め金型や各種産業機械、省力化を目的とした各種機械部品のタイムリーな加工や販売などで知られる、協伸精鋼株式会社を訪問しました。

## 平成生まれで平成育ちの企業

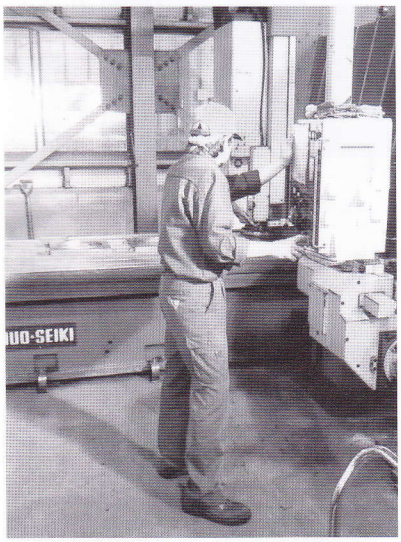
創業はいつ、どこで始められましたか。主たる業種は何ですか。

**吉成社長**（以下吉成）　創業は平成元年ですから、年齢で

# お客様のニーズに応じて加工

作業現場。加工品側面への穴あけ。
「ねじ加工」をしているところ

事務所側から見た協伸精鋼株式会社。工場敷地内も清掃が行き届いている



フライス盤で平面加工するため制御盤に
寸法加工。その後自動で切削加工となる

言えば首都圏大曲会と同じですね。（笑）現在も本社のある、当時の大曲市内小友中沢で、協伸精鋼株式会社は生まれました。社長は吉成信一です。業種としては金型の製造、各種産業機械及び省力機械部品の受託加工、販売です。

**特に得意とする分野は？**

**吉成**　金属プレス機械で製品を作るときに使用する金型ダイセットの加工、巾1メートル×長さ2メートル位の大型加工が得意です。当社の強みは、原材料から切断～加工まで一貫しているので、短期納入に特色があります。

これらはカーナビなど自動車電子部品の半導体部品、住宅関連機器の、例えば電子レンジの換気扇フードなどを作るときに使われる金型です。直接見える部分ではありませんが重要な部品です。

作業打合せをする従業員
加工品の寸法、形状等、その都度担当者同士細かな打合せ、確認をしながら正確に作業は進められる

## 主たる取引き先は自動車工業など大手

**主な取引先はどちらですか？**

**吉成**　自動車、電子、住宅機器の大手メーカーで、関連の会社は約40社、地域は関東、東北、北海道と広範囲です。

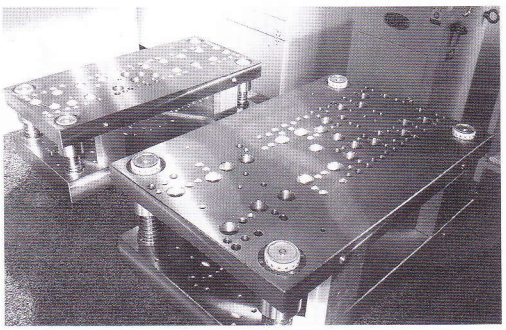
## 全社員の参加で進む活発な5S活動

**御社の5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躾け）についてご説明ください。**

**吉成**　5S（整理、整頓、清掃、清潔、躾け）の徹底運動が活動の骨子です。具体的には、「作業状況の見える化」「品質、寸法精度等各自チェック徹底の日常化」と言ったものですが、一例として、毎日朝礼後、曜日ごとに清掃する器械、エリアを決めて、一日一台、一エリアを全員で取り掛かることにより大型機械全体を効率よく清掃します。約15分位かかります。それにより工場内が清潔になり、気持ちよく効率的に仕事が進みます。来客にも好印象を与えています。

**従業員の構成は？**

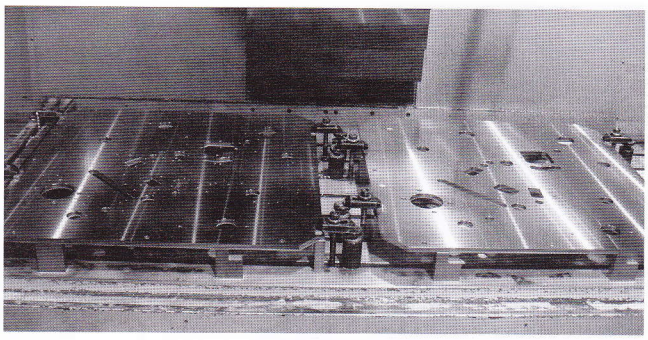
**吉成**　十月現在、男子18名、女子2名の20名です。20代3名、30代5名、40代5名、50

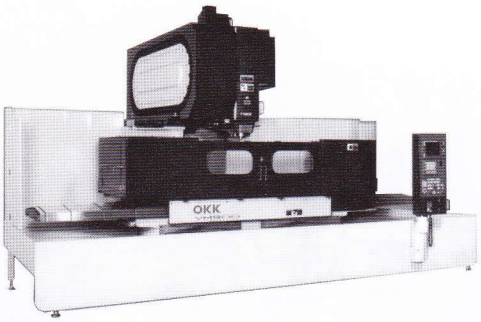


協和精鋼社製「金型ダイセット」の完成品

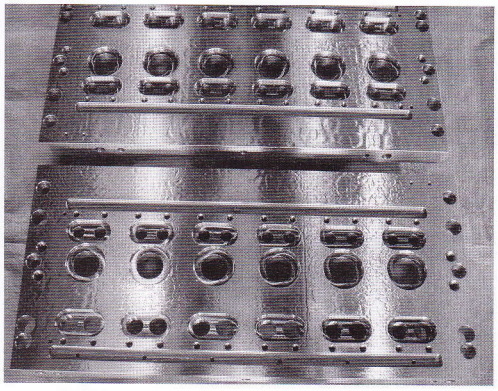
# 信頼の技術で高品質の製品

## 各企業合理化の下支えがモットー

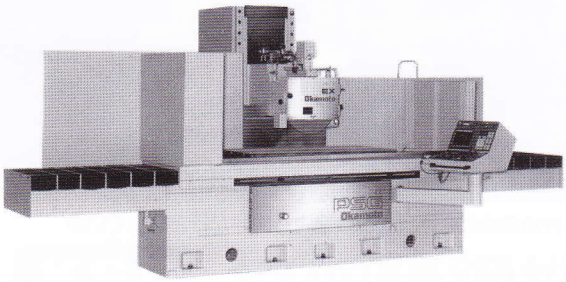




マシニングセンター VM900
コンピューター制御で切削、穴加工、溝加工、タップ（ねじ）加工を100分の１ミリで加工



写真上は、マシニングセンターにより、製品を加工加工中。左は、平面研削盤による完成品に防錆液を塗布している



精密平面研削盤PSG208EX
研削砥石により加工品平面の精度を出す機械（精度100分の１ミリ）

代4名、60代1名、70代2名です。

**通勤エリアは大仙市内ですか。**

**吉成**　大仙市内が15名で圧倒的に多いのですが、仙台3名、横手市1名、美郷町1名です。

**就業体験など地元学校などからの協力要請に応えていますか。また社員厚生活動は如何ですか。**

**吉成**　技術専門学校などから機械操作等の要請があれば随時応じています。また地元の小中学生の工場見学にも、学校から申込みがあれば実施しています。社内厚生活動としては、忘年会、社員懇親会等を適宜行っています。

**地元大仙市に対し、御社の目指すところは何ですか。**

**吉成**　会社の発展・継続により、社員の安定雇用による貢献です。

## 大仙市企業連絡協議会会長としての抱負

**吉成社長は大仙市企業連絡協議会会長として活躍されていますが、協議会の意義、目的について。**

**吉成**　大仙市連絡協議会は、大仙市内に立地する企業の親睦と融和を促進するとともに、地域企業の振興及び地域経済の活性化を図ることを目的に次の活動をしています。

①情報交換会、②各種講習会、③企業振興のための情報の収集、提供。平成18年に発足しました。

大仙市企業連絡協議会は、前述したように、大仙市でものづくりをしている企業で構成される任意団体ですが、現在会員企業は51社、賛助会員企業が2社です。ビジネス・マッチングを目的に多種多様の企業の集合体で、各社相互の情報交換等では各社発展のためには、目に見えない効果も数多く上げていることが伺われます。

年一回の総会を初め、各社中堅幹部職員の研修会、大仙市長、各部部長も参加して行われる市内外の工場視察研修なども行っています。このような活動は、大仙市の新しい産業振興に弾みをつけ、これからの市の産業構想を豊かに育む資源となります。新プロジェクトを立ち上げるための、新ソースとなって育って行くことを夢見る行動です。

## インタビューを終えて

大釜茂璋

お忙しいところ大変ご親切にご対応頂き有難うございます。各企業のニーズに応えて、鋼材の加工・販売のパイオニアとして、生産性の向上に寄与する協伸精鋼株式会社の前途は広く開かれ、今後一層の発展が期待されます。

また吉成社長が会長を務める、大仙市内各ものづくり企業の集合体である大仙市企業連絡協議会の存在、活動も注目されるものでした。市内各企業が協力をし、相互に情報を提供し合い、積極的に前向きの行動を取ることは、これからの時代において欠くことの出来ない要件だと、同協議会事務局を担当する大仙市役所経済産業部の佐藤さんは話していました。

ＩＣＴの活用、ＡＩ時代の到来もそう遠くはない言われる現代において、大仙市ものづくり集団の、これからの時代にかける頼もしさ、力強さを、逞しく感じ取ることの出来た取材でした。

（首都圏大曲会会長）

# 株式会社 三和

株式会社三和は
首都圏大曲会を応援します！

代表取締役
斎藤　昭彦

〒１０７－００５２
東京都港区赤坂２丁目１７番６５－４１１号
ＴＥＬ：０３－３５８６－８０５５
ＦＡＸ：０３－３５８３－１５９４

# 活躍する
# 大曲出身エンターテイナーたち

結香さんのライブに参加した人々と、感激の写真撮影（大曲市民公会堂）

昔から民謡や踊りの盛ん大曲・仙北地方は芸能人を排出しました。現代でも東京で活躍する多くのエンターテイナーたちを見かけます。今号でも民謡の千葉とし子さん一家と津軽三味線・息子の畠山光洋さん、ポップスで売出し中の結香さん、落語二つ目で頑張る三遊亭遊里さんを追いかけてみました。

## 結香さん　地元で感動のライブ

### 内小友小の後輩たちと「僕らの時代」を熱唱

東京・中目黒のライブハウス「楽屋」（らくや）で歌う結香さん（撮影　大友律子）

ポップスシンガーとして、最近めきめき売り出している結香さんは大仙市内小友の出身。大仙市関連でも大活躍で、八月の首都圏大曲会総会、同じ月に大曲花火ウイークで歌っています。東京ではライブハウスで歌い、九月十九日、中目黒の楽屋（らくや）で歌った日に、首都圏大曲会の大友副会長が客として出会いました。この日は生憎の大雨でしたが、店内はかなりの入りで混雑するほど。十月九日は第七回四ツ屋まつりのステージに立ち、十一月三日に大曲市民会館小ホールを満員にして、地元で初めての「結香ふるさとコンサート」を開催しました。母校内小友小学校の後輩も一緒に出演するなどステージと客席が一緒になって盛り上がる、感動のシーンを展開しました。

オープニングは内小友小学校の４年生と結香さんのヒット曲「僕らの時代」を歌った

## 津軽三味線の畠山光洋さん

### 京成青砥のリブロで民謡の家族ライブ開催

民謡を歌う母親の千葉とし子さん

父親藤丸東風さんとジョイントして力強くバチをさばく光洋さん（右側）

津軽三味線の腕をめっきりあげている畠山光洋さん。九月十九日、京成線青砥駅隣接のリブロ、プロムナードで家族ライブを開催しました。この家族ライブは、畠山光洋さんの津軽三味線演奏会を主体に、尺八家元で父親の藤丸東風さん、民謡歌手として活躍する母親の千葉とし子さん三人構成で行われ、昨年も開催されて好評を博したものです。この日は千葉さんの民謡、父の尺八と津軽三味線のジョイントで、あいや節などの青森県民謡とともに、童謡の「ふるさと」を演奏。若者らしい新境地への意欲も見せて、満員の客席から盛大に拍手が飛んでいました。

## 落語家街道まっしぐら

### 二つ目　三遊亭遊里さん
### 勉強会も毎月二本立てで開催

紋付羽織姿で高座の遊里さん

二つ目の三遊亭遊里さん、今年は北海道から沖縄まで、全国各地で高座に上る機会を持ちました。都内の寄席にも、新宿末広亭、浅草演芸ホールなど、毎月平均五日から十日間ほ上りました。また自分で主催する勉強会も、隔月でやるものと、毎月の会の二本立てで頑張っています。日々が勉強です。

昨今、テレビやラジオ、新聞、雑誌など各メデアが落語二つ目を取り上げるケースが多くなりました。その影響からか、色々な場所で落語会を開いてくれる環境が多くなりました。落語家コンテストなどの話題も多くなっています。遊里さんも来年一月十五日の「さがみはら若手落語家選手権」の一次予選を通過。この会最終の本大会には会場来場者の投票で本選出場者が決ります。関心のある方は応援に行ってやってください。ほかに、来年五月、国立演芸場の歴史ある企画落語会への出演も決まりました。車の免許も取得。大曲での落語会の開催を夢見て、落語家街道まっしぐらの毎日です。

# 大曲の話題

玉川の鉄橋を渡る列車の音が、ガタンゴトンとごく近くに聞えるようになると、それは空気がきーんと冷え込みよく澄んでいる証拠。子どもながらに、近づいて来る雪の季節を感じるものでした。

（資料：「だいせん日和」11月号、ほか）

映像で送られてくるリオ五輪男子マラソンで激走する佐々木悟選手を熱烈に応援する大仙市民たち。南外中学校の生徒の応援に合わせて参加者が手拍子を送る。最前列に栗林市長の姿も

## ■リオ五輪　男子マラソン

### パブリックビューイング
### 大曲から佐々木選手を応援

リオデジャネイロ五輪・男子マラソンで日本代表になった佐々木悟選手は、大仙市南外出身期待の星。レース当日の日本時間8月21日、大曲市民会館小ホールを会場に、パブリックビューィングが行われ、参加した市民は約280人に達しました。

この応援構成は、大仙市と南外地区の住民有志が組織する佐々木選手を応援する会が主催したもの。栗林市長を初め佐々木選手の両親、佐々木選手の母校、南外中学校の生徒らが応援のリードをとり、リオデジャネイロで活躍する佐々木選手に熱いエールを送りました。

**大曲工業高校野球部の、甲子園出場にもパブリックビューイング**

第98回夏の甲子園野球大会は、8月7日から15日間にわたり熱戦を繰り広げました。ご存知の通り、秋田県代表は大曲工業高校。初めて夏の甲子園に挑む同校の相手校は、強力ピッチャーを有する埼玉の花咲徳栄（はなさきとくはる）高校。優勝候補と言われた花咲徳栄に大曲工業は果敢に挑戦し、初出場にも関らず6－1の善戦でした。この試合でも大仙市はパブリックビューイングを開設し、栗林市長を初め大曲工業高校関係者など多くの市民が応援に参加しました。

## ■開館準備が進む

### 大仙市アーカイブズ
### 強首地区旧双葉小学校校舎に

東北地方の市町村で初めてと言われる公文書館「大仙市アーカイブズ」が、来年5月開館を目指し本格的な準備が進められています。西仙北地域強首地区の、旧双葉小学校校舎を改修し、1階は閲覧室、展示室、研修室、CD／DVD保管室、作業室、事務室。2階は、古文書類を収蔵する貴重書庫、特別貴重書庫が整備されます。旧体育館は大書庫として、合計約27万冊の歴史資料等を収容できます。

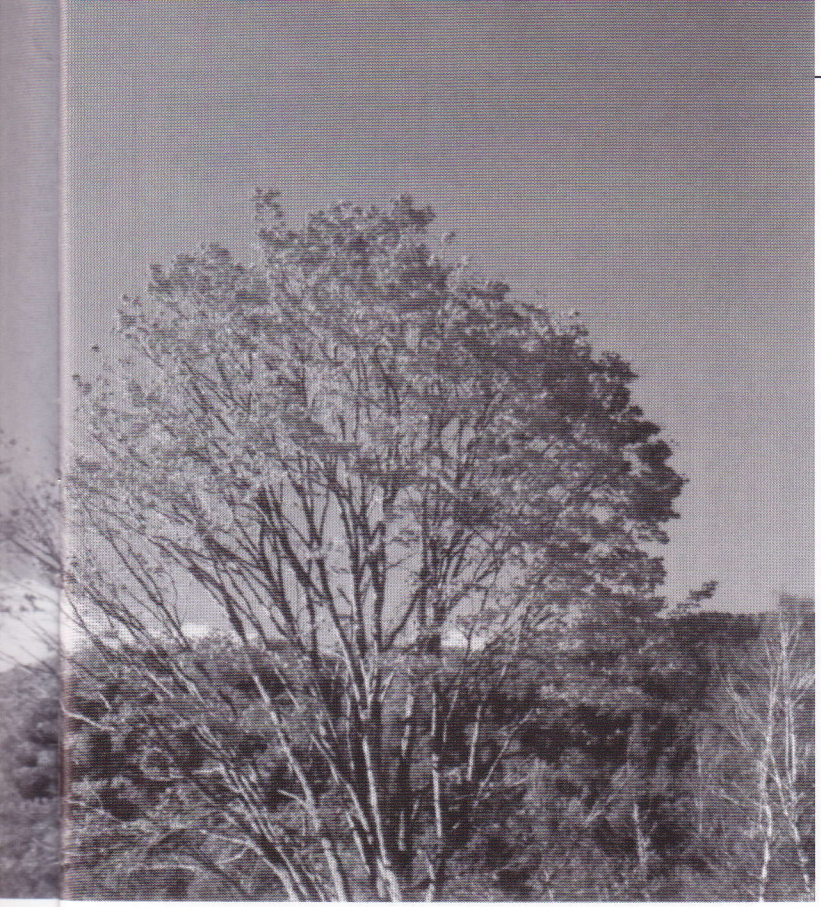
工事は来年2月に完成し、大仙市として合併以前の旧8市町村で保管されていた歴史資料等が搬入される予定です。秋田県の芸能史や民衆文化史の研究に尽力され、秋田県文化功労者表彰などの経歴をお持ちの茶谷十六さんは9月13日、太田文化プラザで行われた文化講演会で「今日の私たちの生活は、営々として続いてきた祖先たちの営みの上にこそ存在します。この認識が次の時代を担う世代に受け継がれる場として、アーカイブズには無限の可能性が秘められています。大仙市アーカイブズが、中学生たちの地域学習の場としても大いに活用されることを願っています」と話しました。

## ■法隆寺大野管長が特別講演

### 聖徳太子提唱の「和」の文化を語る

法隆寺大野玄妙管長さんの特別講演会が、太田地域出身の仏画師鈴木空如の作品展開催に合わせ、10月15日、大曲市民会館で開催。約450人の市民が聴講しました。大野さんは「日本のこころと和の文化」と題して講演。同寺建立の聖徳太子の教えに触れ、太子は誰もが安心して暮らせる社会実現に、「和」の精神を広めたことを話されました。

伝統の銘酒
刈穂（かりほ）
http://www.igeta.jp/
e-mail info@igeta.jp
大地の恵みとともに
秋田の心を醸す
雪蔵銘醸（てくらめいじょう）
出羽鶴（つる）
TEL 0187(63)1224
FAX 0187(66)2277
秋田清酒株式会社
秋田県大仙市戸地谷字天ケ沢八三の一
・お酒は二十歳になってから、お酒はおいしく適量を。
・妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。



# カメラ紀行

## 雪を待つ静謐（せいひつ）な季節

### 上高地から白骨温泉、乗鞍高原へ

旅人　斉藤貞助　Saitou Teisuke

秋色濃くなった10月26日、上高地の大正池を出発したのはまだ夜も明けきらぬ早朝の５時。

目指すは白骨温泉を経由して、乗鞍高原一帯です。コースは森林の中を進むために山の展望はあまりなく、広葉樹の色づきを間近に、そしてじっくり眺めることができました。

上高地の大正池を中心に早朝撮影。撮影後は梓川に添って乗鞍高原を目指し、昼過ぎに自然観察センターに到着。九月早々から始まる紅葉や黄葉は、標高３０２６メートルの乗鞍岳から白骨温泉を経て、十月に入ると上高地一帯も色づきが始まります。

**ダケカンバの黄葉を着る**

黄色の布団を着たように、山肌はダケカンバの黄色が鮮やかに目立ちました

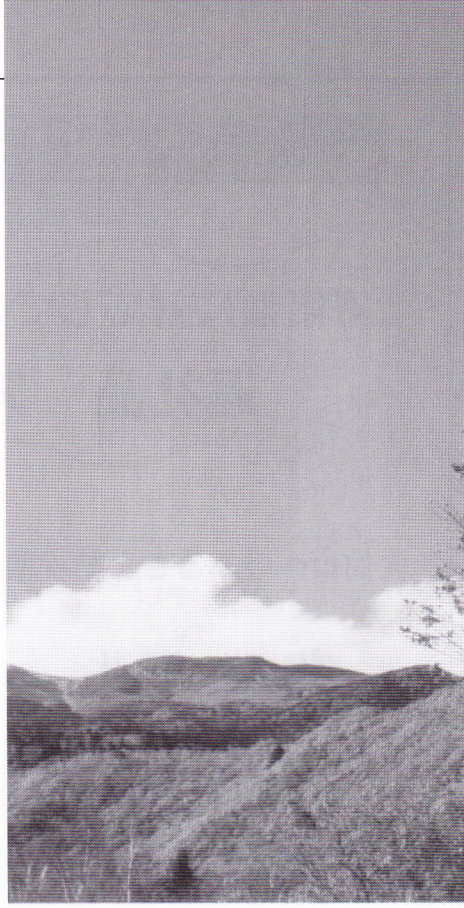
途中、白骨温泉で小さな滝に遭遇しました。道は森林の中を縫うように通ります。点在する赤いナナカマド、黄色いダケカンバ、霞んで煙るようなカラマツの黄葉も見事なハーモニーを奏でるよう。

乗鞍高原周辺は草原の広がりとなり、周囲は三千メートル級の高山に囲まれています。聞こえてくる音は梢を渡る風の音と、甲高い鳥の鳴き声。

撮影開始の頃は高曇りで、メリハリのない場面が続いていましたが、帰る頃になると山々の稜線に鋭く光が当たり、深みのある撮影も出来ました。

**雪の季節を控えた白樺**

葉を散らした白樺は、雪の季節を前に寒々しい。
お互いに励ましあっているかのようだ



## 紅葉したナラの木と青い空

乾いた風が吹いて、遠くの稜線に白い雲が湧いて来た。草紅葉で彩られた草原の午後

## 白骨温泉近くの小さな滝

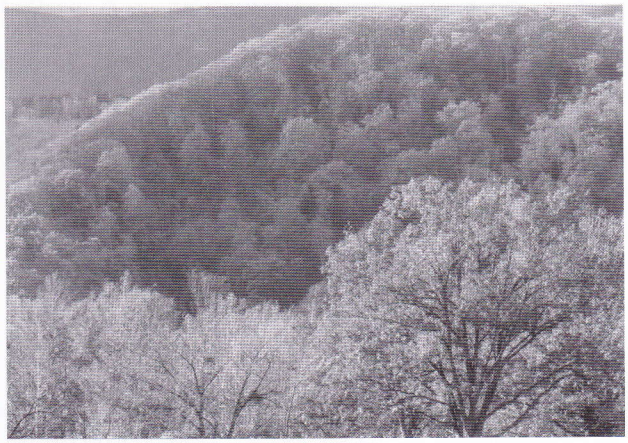
山道を行けば、葉ずれの音と鳥のさえずる音ばかり。白骨温泉近くで小さな滝の音を聞きカメラに収めた

## 木々のお喋りが聞こえそう

近づく冬。葉を落とした白樺とまだ残るナラの木が雪を前にお喋りを楽しんでいる

## 冬の眠りに入る前

山の木々たちは冬の眠りに入る前のひと時、葉の色や、枝や幹で今年最後の存在感を示す



## 入り組んだ山々も色づく

山々が入り組んで奥へ奥へと連なっている。紅葉する草木に混じって松の青さが目立つ

「お料理」と「おもてなし」が好評です

**グランドパレス川端グループ**

グランドパレス川端・山の手ホテル・フォーシーズン
フォレスト・葬祭千の川【沙羅】【顕彰庵】

〒014-0051 秋田県大仙市大曲浜町7-39　TEL.0187-62-0354

# 大仙市のふるさと納税制度

## 寄附額に対応しての 返礼品　スタート！

平成20年にスタートした「ふるさと納税」制度は、今年度で9年目となりました。大仙市には昨年度までの8年間で6,400万円を越す協力があったと発表されています。この中には首都圏大曲会の多くの仲間からの寄付も含まれていると思います。大仙市では「子育て教育分野」や「高齢者福祉分野」など4分野で活用して、市の活性に役立てています。平成29年も引き続き会員からのご協力をお願いいたします。

大仙市の発表によりますと、今度新しく寄附者に対し、寄附額に応じた返礼品プレゼントの制度を新設しました。

ふるさと納税を活用した寄附は、近年寄附額・件数ともに急激に増加しています。総務省の調査では、近年、納税制度の普及・定着が進んだとともに、寄附者に贈る返礼品の充実などがあるとされています。大仙市では市外に居住している寄附者にお礼として、市広報紙、市オリジナルカレンダー、特産品開発コンクール入賞作品の詰め合わせを贈るなど、制度の充実を図ってきました。

### 特別栽培米や日本酒など新しく返礼品

そして新しく返礼品の制度改定を検討し、これまでの寄付者などからのアンケートも参考にして、寄附額に応じて特別栽培米や市内蔵元が製造したお酒などを贈る、大仙市を広くPRする制度を新設しました。

またふるさと納税としての寄附金の納入の仕方も、より便利にできる新しい方法が加わりました。それは、インターネットを使った方法や、クレジットカード決済、お住いや職場近くのコンビニを利用したコンビニ決済にも対応することで、より気軽にふるさと納税に参加できることになったものです。

大仙市では、ふるさと納税を通じて、大仙市を応援してくださる多くの皆さまの思いを大切にした取り組みを進めていきたいと話しています。詳しくは大仙市役所まちづくり課へお気軽にご質問ください。

〒014-8901
大仙市大曲花園町1番1号
大仙市役所まちづくり課
電　話：0187-63-1111
FAX：0187-63-1119
メール：
machi@city.daisen.akita.jp

### 大仙市のふるさと納税活用分野

大仙市では、首都圏大曲会の皆さんなど大勢の方々から、ふるさと納税として協力して頂いた寄附金を、次の4分野に関する事業として活用してます。

私たちが協力するふるさと納税は、大仙市の発展に活かされ、大いに貢献しているのです。

一．**観光分野**　大仙市の魅力ある観光資源を活用した観光交流に関する事業

二．**高齢者福祉分野**　老いを楽しみ、地域が支える高齢者福祉に関する事業

三．**自然環境分野**　次代に残す大仙市の豊かな自然環境の保全に関する事業

四．**子育て教育分野**　大仙市の子ども達の健やかな成長を願う、子育てと教育の充実に関する事業

### 大仙市へのふるさと納税額

**寄附合計**

| 年度 | 件数 | 金額（円） |
|---|---|---|
| H20 | 50 | 5,238,000 |
| H21 | 45 | 6,483,000 |
| H22 | 43 | 6,352,000 |
| H23 | 36 | 4,102,000 |
| H24 | 46 | 15,836,286 |
| H25 | 49 | 7,867,000 |
| H26 | 55 | 8,514,000 |
| H27 | 85 | 9,013,187 |
| 合計 | 409 | 64,410,473 |

故郷でのお集まり、お泊りに
西根の湯っこで
遊ったりのんびり
喜ぶ顔がみたいから
姫神温泉
スパ西遊喜　大曲西根字鳥居215-9
tel 0187-68-2639

乳頭温泉郷
黒湯温泉
〒014-1201　秋田県仙北市田沢湖生内字黒湯沢2-1
TEL 0187-46-2214　FAX 0187-46-2280
HP　http://www.kuroyu.com

## 思い出の中の景色

# 中良野原（なからのはら）と和田徹夫先生

## 「散らば・桜」

（提供者）高階光義さん（千葉市在住）

旧大曲中学校を昭和30年に卒業して、最早数十余年の歳月が流れた。私の実家は上栄町だったので、小学校とは目と鼻の先で賑やかだったが、中学校は街から離れた中良野の地にポツンと建っていた。大曲高校の通りに面した堀内製材所の脇から、真っ直ぐ中学校へ伸びる一本の農道が通学路だった。

ここから先には民家もなく、周りは一面田圃が広がり、その彼方に東山を背景に校舎が目に入る。春夏秋冬、巡りくる大自然の変化とともに育ち、通学した中良野校舎の光景は、今も懐かしく想い出される。

農道に沿ったセギ（農業用水路）には、ツブ、どじょう、ザッコなどが生息していて、夏場にはみな泥んこになって捕ったものだ。稲刈りの頃になると赤トンボの大群が飛ぶ中、跳び交うハッタギを追いかけては壜の中に捕獲した。

冬、吹雪の日は遮るものが何もないので、マントを頭からスッポリ被り、小さな隙間から前を覗いて、ひたすら学校を目差して歩いた。春先の冷え込んだ朝、硬雪渡りは楽しかった。どこを歩いてもぬかることはなく、この朝だけは思い思いに横に広がって歩き、なぜか浮き浮きした気持ちだった。

時は過ぎて平成5年5月、中学校の担任（歯車ルーム）だった恩師和田徹夫先生宅を訪問した。ちょうどこの月は先生の誕生月で、その時先生は趣味の絵をお描きになっていた。何枚もある中で「散らば・桜」と題したその絵は、当時通った中良野の風景を想いうかべて描いたそうである。

見ていると走馬灯のように昔日を彷彿させてくれる。思わず「先生、この絵を頂けないでしょうか」と、口をついた私のお願いに、「人様にあげるような絵ではありませんが・・」と言ってくださり、私は大事に胸に抱いて帰ったのである。あれから23年経ったがわが家の居間には、今もその絵は飾られて、毎日、あの頃を思い出させてくれるお宝となっている。

和田先生は平成24年5月、89歳でお亡くなりになったが、お伺いする度に歓迎してくださった先生の笑顔が浮かぶ。そしてその年、秋の弔問に際し、仏前に次の詩歌を捧げた。

今は奈（な）き　中良野原の　我が校舎
恩師の音声（おんじょう）耳朶（じだ）に残りて、
安らかに　眠るがごとく　天国へ
父母の御胸（みむね）に深く抱かれ　未来世（みらいせ）も
我らの担任　必ずや
歯車ルームの　教え子集ひて　合掌

和田徹夫先生　ありがとうございました。

**首都圏大曲会　会報**

**『ふるさと大曲』編集スタッフ募集中！**

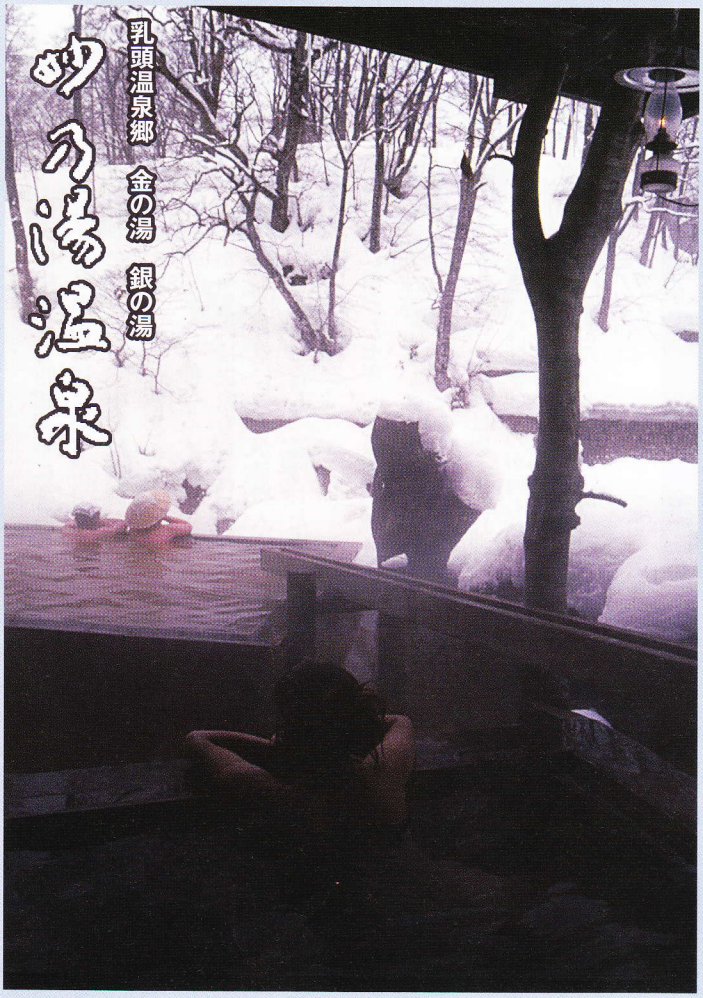
首都圏大曲会は会報『ふるさと大曲』の編集協力者を募集中です。記事取材やインタビュー、写真、レイアウト等に興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。ご連絡は左記まで。（担当　大釜）

電話　03（3341）6339
Fax　03（6273）0081
e-メール：info@e-prosip.com

## 編集後記

小学校を卒業してもう六十数年になる。毎年十一月の第二土曜日は同級会と決まっていて、この会への参加は実に楽しい。各人相応に年齢を重ねたが会場に入るとあら不思議。さっきまでの腰や膝の痛みもさらりと忘れて往年の少年少女に帰り、あの頃の話に花を咲かせて賑やかだ。毎日が同級会だったらいいと冗談も飛び出していた。▽今年はどうも秋野菜の出来が悪いらしい。九月に入っても三十度を越す暑い日が何日もあり、白菜やキャベツなどの玉は固くならないと言う。東京は野菜が高騰している。こういう自然現象にどう対応するか。大都会だろうが地方都市だろうが、まさに情報重視の時代となった。最近スーパーの店頭には、2分割どころか4分割にした白菜やキャベツが並んでいて、それが売れていると言う。▽大仙市が主催して11月11、12日の両日、東京の有楽町駅前広場で今年も「ふるさと物産フェア」が開催された。初日は雨が降り、東京ではこの時期にしては珍しいほど寒かった。「雨ですが開催しますか」と朝から首都圏大曲会への問合せが数件あった。懐かしいふるさとの物産フェアを待っている人がいる。降る雨が恨めしい。ジーンと胸が熱くなった。▽リオのオリンピックに秋田県から三人の代表選手が出たが、三人とも大仙市出身とは爽快だった。三選手の健闘を称えて市は大仙市民賞を贈呈した。晴れやかな授賞だった。▽この夏、〝大曲の花火〟は第90回を迎え、天候にも恵まれ圧巻の花火ショーだった。来年は花火国際サミットだ。花火のまち大曲の、総力をあげた真の力を世界に見せる時である。（大釜）

「ふるさと大曲」第二十二号
平成二十八年（二〇一六年）十二月二十六日
首都圏大曲会発行




# 憩い
# 安らぎ
# 癒しの宿

## 秋田・十和田湖・八幡平国立公園

ここ乳頭温泉郷は、七湯の、素晴らしい良質の宿が点在しています。中でも妙乃湯は、関西から見た東の「金泉・銀泉」の二源泉を併せ持った誇れる宿です。また、こじんまりした秘湯の素朴さ、古きに新しさのバランスを兼ね備えた趣のあるいで湯で、非日常のときをゆっくりお楽しみください。

秋田県仙北市田沢湖生保内字駒ケ岳２－１
電話0187－46－2740

## 秋田・田沢湖・抱返り渓谷　県立自然公園

田沢湖と角館の中ほど。音もなく雪降り積もった冬の朝。広い敷地と周囲の山々に包まれた「都わすれ」は、客室わずか10室。
全室抱返り渓谷を見渡しながらのかけ流し露天風呂付き。
人里離れた理想郷で、静かに流れる至福のときをどうぞ。

秋田県仙北市田沢湖卒田字夏瀬84
電話0187－44－2220